



# みやかわ

会津美里町立宮川小学校  
令和4年度学校だよりNo.39

令和5年2月2日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

## 「個別最適な学び」の実現に向けて！

本当に月日が経つのは早いもので、もう2月に入りました。第3学期がスタートして、約3分の1が過ぎたこととなります。現在各学年、学習のまとめはもちろん、生活面のまとめにも力を入れて、卒業・進級に向けて着実に前進しているところです。

さてタブレット一人一台環境の実現により、本校では「個別最適な学び」の実現に向けて、各学級で様々な活用を行ってきています。今年度はWi-Fi 増強工事があり、校長室や職員室など特別教室でもWi-Fi がつながるようになり、学習準備や学びの充実に活かせるようになりました。大変ありがたいことです。また、ICT 支援員の方を週に1回程度配置していただいております。教職員がよりよい学びを子どもたちに提供できるようにご助言頂いている点も感謝しております。更には子ども達一人一人の学びの進み具合によって、出題される問題が変わる「タブレットドリル」も導入していただいております。個々に応じた学習の実現ができています。これらの事業は、国の「新型コロナウイルス感染症対策事業」を受けて実施しております。ぜひ今後も新しい時代の新しい学びの実現に向けて、教職員研修を行うなどして「チーム宮川」として、前に進んでいきたいと考えております。タブレットの持ち帰り等で保護者の皆様にもお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

### <本校のICT活用の様子>



**4年生体育。タブレットをモニターにつないで学習内容の提示をします。**



**3年生体育。タブレットで動画を撮影し、自分の動きを確かめます。**



**3年生音楽。音楽室でタブレットを使ってリズムづくりをします。**



**つながるWi-Fiを活用して、リモート放送朝の会。そして町内全小学校の6年生とオーストラリアの中学生をつないだ外国語リモート交流！（特別教室から実施）**



**校長室内天井のWi-Fi設備です！**



1年生。ICT 支援員さんに教えていただきながら、ICT活用力を高めています！

「スクールタクト」という授業支援システムを活用した授業の工夫をしている6年生とひまわり学級！



タブレットドリルなど一人一台環境を十分に活かした「個別最適な学び」の様子です、左上「さくら1」上真ん中「さくら2」  
下左「5年生」 下真ん中「2年生」 下右「6年生」



## 校長のひとりごと

節分とは本来、季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことだそうです。漢字の通り「季節の分かれ目」「季節の変わり目」のことを指します。その中でも旧暦の1年の始まりである春の節分（立春の前日）が重要視され、だんだんと節分は春の節分という認識が広まっていったのだそうです。ちなみに今年の節分は、明日2月3日（金）です。皆様のご家庭では豆まきをされるでしょうか。星家では毎年豆をまいてはいますが、年々簡素化している感じがします。自分が金山町での子どもの時を振り返ってみると、自分の家はもちろん、近所を回り豆まきした思い出があります。そしてお菓子などをもらっていました。南会津に引っ越した時も、私の子ども達は地区の子どもたちといっしょに近所をまわり大量のお菓子もらっていました。金山町も南会津でも結構な時間が豆まきにはかかっていた記憶があります。地域によってもいろいろな習慣があると思います。唱え言葉も金山町では「鬼は外、福は内、恵比寿大黒、豆上がれ、日本の神々皆上がれ」でした。会津美里町は広いので、地区によって様々な習慣や唱え言葉があるのではないのでしょうか。日本人として日本の古き良き伝統を大切にしていけることはやはり大切なことだと思います。子ども達にも伝統の大切さを伝えていきたいです。ちなみに今年の恵方は「南南東微南」だそうです。（「微南」とは「やや南」のこと）恵方巻きを食べられる皆様は、ぜひ参考にしてください。